

「津田梅子の夢と私たち」

飯野正子

津田塾大学を創設した津田梅子の肖像が、新5千円札に採用されることが発表されました。私たち卒業生や関係者にとっては、大変光栄な、そして誇らしいことです。

現代の若者が内向き志向であるといわれる一方で、「グローバル化」は最近の日本のテーマでもあり、世界でみられる重要な傾向です。2020年は、日本でオリンピック・パラリンピックが開催される年。そして母塾の創立120周年に当たります。いつも以上に「グローバル化」や国際交流について考えなければならないときです。

6歳で「不思議な運命」によって渡米（1871年）してから「日本人の姿をしたアメリカ人」として帰国する（1882年）までの梅子の経験は、今とはまったく異なった時代のことで、きわめて特殊であり、今にあてはめることはできません。しかしその経験から生まれた彼女の理念、理想、そしてその後歩んだ道から私たちが学ぶことは多いと思います。

11年間のアメリカ滞在を終えて帰国した彼女がもっとも衝撃を受けたのは、日本の女性の地位の低さでした。それが、その後の彼女を動かす力になったのです。女性が教育を受けて自立し、男性と協力して日本を発展させる力にならなければ——それを目指して彼女は再度渡米。プリンマー大学で学ぶ間（1889 - 1892年）に「教育を通しての女性の近代化と地位の向上」を生涯の課題と決めました。

そして、彼女は、その「夢の実現」に向けてアメリカの友人の支援を得、「日本女性のためのアメリカ奨学金」を創設したのです。目指すところは、自身と同様の体験の機会を他の日本人女性にも、ということでした。確固とした信念をもって人的ネットワークを活用し、女性の地位の向上のために後進を育てようという梅子の気概に感銘を受けます。紙幣に選定された理由が「女性の教育を通じて、まさに現代日本の喫緊の課題である女性の活躍に貢献した」ことであるのは、そのとおり！と納得しますね。

女子英学塾創立以後も、日本の女性の教育への支援を通して国際協力の輪は回り続けます。梅子の夢はまさに現代につながっているのです。

今、振り返ってみると、私もその輪の中に入れていただいていたのかなと思います。私は津田を卒業してすぐフルブライト奨学生としてニューヨーク州にあるシラキュース大学大学院に留学しました。その大学の教授がフルブライト交換教授として津田に教えにいらして、推薦してくださり院から奨学金もいただいたのです。先生とご家族が私をご家庭に受け入れてくださり、私はそこに住み、勉強だけではなくアメリカをじかに学ぶことができたのです。その経験は、無意識のうちに「自分に与えていただいたように、自分もいつかは人のためになりたい」という気持ちを育んだのだと思います。十分なことはできていませんが、でも、そのような気持ちは自分の仕事に反映されてきたかなと。

梅子の夢の恩恵を受けてきた私たちが今後すべきことは、梅子に倣って、私たちに続く人々のために何ができるかを考え、実行することではないでしょうか。梅子の夢を次の世代にも！

プロフィール:

津田塾大学英文学科卒。シラキュース大学大学院歴史学修士卒。元津田塾大学学長。マギル大学：アカディア大学客員教授。『日系カナダ人の歴史』でカナダ首相出版賞受賞。国際カナダ研究カナダ総督賞受賞。歴史学者。現津田塾大学同窓会会長

皆様の声 ～第8回千葉支部総会懇親会にて～

2019年3月9日に第8回千葉支部総会懇親会が、津田塾大学同窓会助成事業として行われました。山岸良二先生に日露戦争と、習志野に関係した歴史上の人物5名(西郷隆盛、大山巖、秋山好古、津田梅子、山川捨松)について講演していただきました。習志野命名の由来、西郷の子沢山、大山と山川夫妻の会話は英語と仏語だった、秋山は現在の成田街道‘洋服の青山’辺りで借家生活、梅子の父、仙は佐倉藩出身で梅子は帰国後日本語がわからず再度渡米したetc.親近感の持てるお話でした。皆様の声を俳句にのせてお届けします。

百万一心
百代一心 山岸 良二先生

桜より マスクの花咲く 春爛漫
ちかちゃん

涅槃西風(ネハンニシ)
ビルマいまごろ
夕日落つ 渡辺 節子(英大11)

桜待つ
今日の集いのなつかしき

青空や
来て見て安堵の
同窓会 U.

ばか面で免疫力も上がったわ
森田 都(英大33)

年代を忘れ織りなす梅の糸
石

春の始め
友と語らう
同窓会

料理おいしく
話がはずむ 同窓会
卒後40年越え

子の数多すぎすべては捜せない
山岸氏に聞くセゴドン逸話
早都宮



母娘二代で世話になることに
決まりし春に 千葉支部うたげ Izumi Ocean

習志野の由来学んで食すすむ

初対面
同窓というつながりで
楽しい食事



感謝して寛容に丁寧に
日々過ごそうと改めて思わせてくれる同窓会
NN

三山の地名や母方の祖父が騎兵旅団にいたと聞いていたし、数年前のハルピンの旅etc.を思い出しました。

自分の住居近くの歴史にふれられたので、習志野原にまつわる歴史を紐解きたいと思う

(千葉支部同窓会の活動状況は、同窓会HPに掲載しておりますのでぜひご覧ください。)

同窓会HP www.tsuda-jyuku.org/

出欠のご連絡は、メールまたは右記の葉書を切り取ってご使用ください。葉書をご使用の場合は63円切手をお貼りください。



メールでの連絡先:

tsuda.funabashi@gmail.com

津田塾大学同窓会 第9回千葉支部総会・懇親会

ご出席

ご欠席

(フリガナ)

お名前

卒業回数

ご住所 〒

Tel

E-mail

通信欄 (近況等を次号会報に掲載させていただく場合があります)



今後この千葉支部会報の送付が不要な方は、左の空欄にチェックをお願いします。